

# 日本産酒類の海外商談会事業 (in 北京)

令和3年度国税庁事業である日本産酒類の輸出促進を専属的にサポートする「酒類輸出コーディネーター」と連携し、現地の有力なバイヤーを招聘。中国国内の消費・購買意欲の高い富裕層をターゲットにする飲食店や小売店舗等に対し、高付加価値の日本酒をテーマとした商談会を実施。

## 【日時】

令和3年12月15日 (水)

## 【会場】

北京奥加美術館酒店

## 【実施内容】

- ・ 北京の酒類輸出コーディネーターと連携し現地の有力なバイヤーを招聘 (30社程度を想定)
- ・ 招聘するバイヤーのニーズを刈り取り、日本側の出品条件等を決定
- ・ 会場に出品各社のブースを設置し、商談等
- ・ 各出品酒類のPRセミナーや招聘したバイヤーの業態、ニーズ等に応じた日本産酒類についてのセミナーを実施 (P)

## 【日本側の出品条件等】

- ・ 日本側の出品企業は10社程度を想定。
- ・ 出品する日本酒は高付加価値銘柄を対象とする  
(価格、品質、ストーリー、オーガニック等、高付加価値としての訴求ポイントを応募時に記入いただく)

※ブース担当者は、状況に応じて渡航又は現地代理人出席で対応



北京奥加美術館酒店  
(北京三里屯に位置する四つ星ホテル)



北京の酒類輸出コーディネーター  
李鵬 (リー・ポン) 氏